

令和4年度富山県中小企業経営モデル企業の概要

企業名	株式会社アイペック		住所	〒931-8453 富山市中田1丁目113-1		
ホームページ	https://www.ipec-com.jp/site/					
代表者	代表取締役 東出 悦子	資本金	3,000万円	従業員	70名	
業種	技術サービス業（非破壊検査業）					
取扱品目	非破壊検査、調査・診断、補修設計、IoTサービス・ソリューション					
沿革	<p>昭和44年 高見貞徳氏が個人で機械設計業を始める</p> <p>昭和51年 同氏が富山検査株式会社を創業</p> <p>平成10年 ISO9002認定取得（JIS Z 9902）【非破壊検査部門】 社団法人日本溶接協会がA種非破壊検査事業者に認定</p> <p>平成21年 建設コンサルタント登録（鋼構造及びコンクリート部門）</p> <p>平成22年 社名を株式会社アイペックに改称</p> <p>平成23年 建築士事務所登録【株式会社アイペック一級建築士事務所】</p> <p>平成26年 資本金を1,000万円から3,000万円に増資</p> <p>平成30年 高岡営業所を開設</p> <p>令和元年 本社を富山市中田に移転 県から男女共同参画推進事業所の認証</p> <p>令和2年 経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定</p> <p>令和3年 富山県SDGs宣言</p>					

指定要件の内容

要件	要件の具体的内容
①構造的課題や情報化への対応がなされている企業 ②独自の技術力を持つ企画提案型企业 ③独創的な自社製品を持つ開発型企业 ④先駆的な経営管理システムを持つ企業 ⑤新規に創業等を行い、成功を収めたベンチャー企業	<p>1 主力事業の構造物の検査サービスは、この性質上受託業務が中心となるが、調査診断結果を踏まえた補修工事の設計を追加提案するなど、関連事業領域に進出する体制を整えている。また、デジタル技術を活用した社会インフラ等のモニタリングサービスや、交通量調査をAIの画像分析により無人化するなど、DXの取組みが進んでいる。</p> <p>2 社会インフラの長寿命化への貢献による環境への負荷軽減、テレワーク営業、リモート会議、水素自動車の活用による脱炭素社会の実現などSDGsに取り組むとともに、スマートムーブ（直行直帰）、フレックスタイム、勤務時間インターバルなど柔軟な働き方を認める制度を通じて、健康経営を実践している。</p>

事業内容等について

<p>機械設計事務所から出発した同社は、機械設計事業で得られた知見を生かしながら、事業内容を機械設計から構造物の検査へと転換してきた。競争上の優位性を確保するため、あらゆる構造物の検査・診断を手がける総合検査・診断会社を目指し、資格取得支援制度を導入するなど、人材育成に取り組んできた。</p> <p>近年は、調査診断結果を踏まえた補修工事の設計を追加提案するなど、関連事業領域に進出する体制を整えるとともに、これまでの現場経験やデジタル技術を活用しながら、構造物の予防保全ニーズに応える新サービス（モニタリングサービス）も提供している。</p> <p>新型コロナウイルスの流行を契機に企業のDXの機運が高まるなか、同社はコロナ前の本社移転（2019年）時からテレワーク、リモート会議、ペーパーレス等の取組みを行うとともに、環境への配慮や維持管理コストの削減を背景とする社会インフラの予防保全ニーズに応えるべく、デジタル技術を活用した新サービスの開発・提供を開始していた。これらは社員ひとりひとりが主体性をもって業務に取り組める環境を整え、新技術の積極的な活用やこれまで蓄積してきた技術力の応用、更なる技術力の向上に果敢に挑戦してきた成果といえる。</p> <p>経営理念の「百年の大計 人と公」の実現に向け、DXの取組みが進んでいるほか、SDGsや健康経営を実践しており、今後さらなる成長が期待できる。</p>
--